

トルコの 翌日物貸出金利の引き下げについて

ポイント① 翌日物貸出金利を8.75%に引き下げ

トルコ中央銀行は7月19日の金融政策決定会合で、市場予想通り、市場金利の上限となる翌日物貸出金利を9%から8.75%に引き下げました。主要政策金利である1週間物レポレートは7.5%に、市場金利の下限となる翌日物借入金利は7.25%に、それぞれ据え置きました。

翌日物貸出金利の引き下げは5会合連続となり、政策金利のコリドー幅（上限金利と下限金利の差）は、導入以来最小となりました。

ポイント② クーデター後、流動性に万全を期すと表明

同中銀は声明で、「最近の国内の出来事が金融市場の変動につながった」とし、前週末15日に起きたトルコ軍の一部勢力によるクーデター未遂事件に間接的に言及しました。その上で、今回の事件に対する金融市場の混乱を受け、17日に無制限の流動性供給策を公表したことで、「金融市場の変動が和らいだ」との認識を示しました。

更に、今回の翌日物貸出金利の引き下げ決定について、前会合と同様、これまで実施してきた政策により、外的ショックに対する同国経済の耐性が強まっていることなどを理由に挙げ、3つある政策金利を最終的に一本化していく「単純化」を計画に沿って、引き続き進めていくとしました。

ポイント③ トルコリラは下落

7月19日の外国為替市場（ニューヨーク時間17時頃）では、トルコリラは対米ドルで前日比2.1%程度、対円で同2.2%程度のトルコリラ安となりました。

今後の金融政策の決定はインフレ見通し次第とした上で、市場動向を注視しつつ、金融市場の安定を支えるために必要な流動性措置を引き続き講じていくとしています。

図1：政策金利の推移

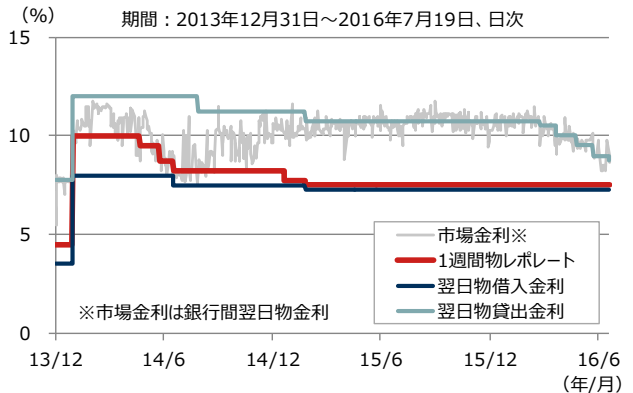


図2：消費者物価指数（前年同月比）の推移

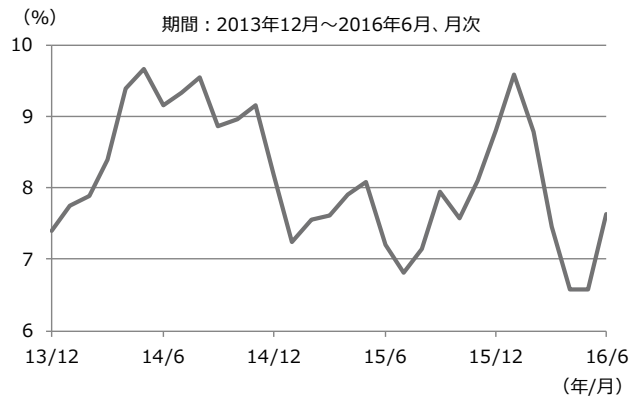


図3：為替レートの推移



(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

重要
イベント

8月3日 消費者物価指数（7月）
8月11日 経常収支（6月）
8月23日 金融政策発表